

# 緑のセンターだより

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター(相談所)

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel 0166-65-5553 Fax 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>



No.167

発行:平成 29年 8月 1日



## 講習会のご案内

(お申込み・受付は前月の20日から)

### 「神楽岡公園-夏の自然観察会」

とき 平成 29年 8月 20(日)  
午後 1:30~3:30 定員各 20名  
講師 旭川みどり 21 の会代表 成田一芳さん



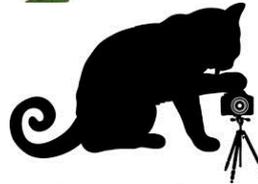
### 「ハーブの寄せ植え」教材費 ¥1,500

とき 平成 29年 8月 27日(日)  
午後 1:00~3:00 **注意!** 定員 20名  
講師 緑のセンター相談員



### 「ヒオウと秋植え球根の寄せ植え」

とき 平成 29年 10月 8(日) 教材費 ¥1,000  
午後 1:30~3:30 定員 20名  
講師 緑のセンター相談員



### 「秋の神楽岡公園で写真教室」

講師:道写協旭川支部長 馬場 和美さん

- | ①写真の撮り方等の基本講義 10月 9日(月・祝)
- | ②公園内の撮影会 10月15日(日)
- | ③トリミング講習 10月29日(日)

※全3回出席可能な方 ☆10:00~12:00 20名



### 【連続講座 第2回目】

「プランターで育てる四季成りイチゴ栽培」  
・プランターに苗を定植  
8月 19日(土) 13:30~15:30



### 【連続講座 最終第3回目】

「種を播いて夏のサギソウと翌春のパンジーを楽しむ講座」  
・サギソウの冬越し準備とパンジーの鉢植え実習  
9月 23日(土) 13:30~15:30



### 【緑のセンターまつり 2017】8月 11日(金・祝) 10時~16時 緑のセンター・神楽岡公園

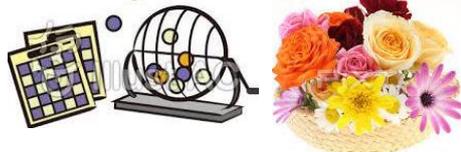
- ・ブルーベリーの苗木をプレゼントします!! (プレゼントはなくなり次第終了です)
- ・イベント...フラワービンゴゲーム、おもちつき大会、神楽岡太鼓、よさこいソーラン  
青空寄せ植え教室、無料ミニ押し花体験
- ・農産物市、園芸市、納涼ビアガーデン・売店(焼き鳥、やさい、くだもの)
- ・縁日コーナー...お子さまに綿あめ、ポップコーン、ふうせんをプレゼント!
- ・花と緑の展示会(館内)...洋ラン、ミニ盆栽、山野草、石花盆景、押し花(販売あり)



青空ヨガ



午前 11時から



## 展示会のご案内

(初日は午後から、最終日は4時まで)

「押し花展」8月5日(土)~8月27日(日)

### 【休館日のお知らせ】

4月~10月は第2・第4月曜日が休館日(祝日の場合は翌日)  
11月~3月は毎週月曜日が休館日 ( " )



くつろぎカフェ  
8月24日(木)~27日(日)  
PM 1:00~3:00  
各種ハーブティー 100円



プレミアムな時間

# 〈園芸の基礎知識〉 植物の種子の構造と働き

## ～ 2 種子の種類と役割 ～

### ■被子植物と裸子植物

被子植物は花粉が柱頭につく(受粉)と、花粉が発芽して、花粉管が花柱の中を胚のうに向かって伸びます。花粉管内で2個の精細胞ができ、胚のうに達すると、一方の精細胞は卵細胞と合体して受精卵となり、他方の精細胞は中央細胞と融合します。受精卵は、すぐに発生をはじめ、最初の分裂でできた2つの細胞の一方だけが、分裂を続けて胚となります。他方の細胞は胚柄となり、後に退化します。胚は子葉、幼芽、胚軸、幼根に分化します。

胚のう内の2個の極核は、精細胞の核と融合して胚乳が形成されます。胚珠の珠皮が種皮になります。

裸子植物の胚珠は子房に包まれておらず裸のまま露出しています。花粉が胚珠に受粉すると、マツやスギなどの多くの裸子植物では、花粉が花粉管を伸ばし、被子植物と同じように精細胞が胚のうの中で受精します。ソテツやイチヨウは、花粉管内に精細胞ではなく精子をつくり、卵細胞と受精します。裸子植物は、受粉後、受精がおこるまでの期間が長く(ソテツ2～3カ月、イチヨウ約5カ月、マツ約1年)、受精の前に、胚のう内の細胞が増殖して胚乳を形成することも特徴です。

### ■タネの役割

タネの役割の1つは、植物の姿では耐えがたい、都合の悪い環境をしのぐことです。そのため、植物は、都合の悪い環境に備えてタネをつくり、タネで増えます。つくられるタネの数は、少なくなく、多くの仲間や子孫の個体数を増やします。植物は発芽すればその場所から移動しません。植物が生育地を移動できる生涯に唯一のチャンスが、タネのときです。タネは果実を肥大させる物質(オーキシン)をだしていると考えられています。さらに、オスとメスの性質が混ぜ合わされて、いろいろな性質の子どもが生まれ、さまざまな環境の中で子孫が生きていけるようになります。

(参考資料:講談社「新しい高校生物の教科書」、ソフトバンククリエイティブ「タネのふしぎ」)

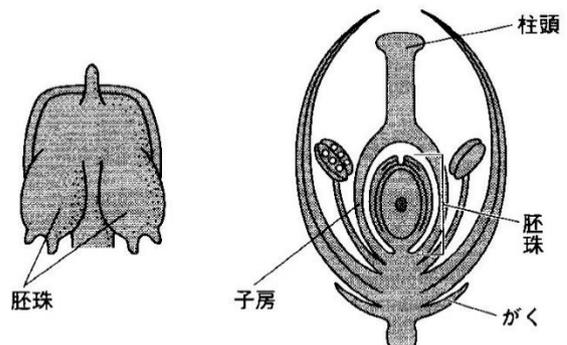


図 裸子植物(左)と被子植物(右)の胚珠

## 緑の相談 Q&A(41)

ベニシタンを育てています。これを殖やしたいのですが、方法がわかりませんので殖やし方を教えてください。

ベニシタンは、コトネアスターの品種の1つで、昭和初期に導入されて最も広く栽培されている代表的な品種です。半常緑から落葉の低木で樹高50～100cmの暑さ寒さに強く生育旺盛で育てやすく、9月頃には美しい赤い実をつけます。ご質問の殖やし方ですが、さし木とタネまきで殖やすことができます。さし木は、6～7月が適期で、穂木は枝先を長さ5cm程度に調整し1時間ほど水あげしてから、切口に発根促進剤を付けて、事前にプラスチック鉢などにさし木用土(赤玉土小粒や火山レキ小粒など)を入れタプリー水をかけたところに割箸などで穴を開け穂木を2cm程度挿します。再度水をかけて用土を安定させて半日陰で水を切らさないように1～1.5か月管理します。タネまきは、10～11月に熟した実を採取し、水で果肉を全部洗いながしてタネだけにします。タネは乾燥させると極端に発芽率が下がりますので、事前にプラスチック鉢などに赤玉土小粒などを入れ水をたっぷりかけておき、これに播いて、その上に1cm程度覆土します。雪が積る屋外で水やり管理すると来春発芽します。

(参考資料:北海道新聞「北海道四季の家庭園芸」、NHK出版HP「みんなの趣味の園芸」ほか)



※ホームページ (<http://www.asahikawa-park.or.jp>) に「花と緑の相談コーナー(Q&A)」を掲載しています。こちらでもご利用ください。

# 植物の病害虫

## その38 「コスカシバ」



成虫



被害



幼虫

### 1 寄生しやすい植物

オウトウ、リンゴ、ナシ、ウメ、モモ、スモモ、アンズ、サクラ

### 2 被害

幼虫が樹幹や主枝の内層に食入して形成層を食害するため、被害を受けた樹では次第に樹勢が衰退し、日焼けや樹指病を併発して、被害の甚だしい場合には枯死します。幼虫は樹皮の荒れた部分から食入しますが、食入孔からは茶褐色の樹指とともに細かい木屑のような虫糞が排出されているので被害部分の発見は容易です。樹指は他の要因によってもできますが、虫糞が混じっている場合には幼虫が食入していると間違いありません。また、食入初期には細かい虫糞を排出しますが、老熟幼虫が食入している場合には樹指とともに大きな虫糞も排出されるので、食入している幼虫の大きさをつかむことができます。

### 3 生態

年1回の発生。幼虫態で樹幹に食入したまま越冬します。成虫はフェロモントラップによる調査では5月末頃から羽化し始め、7月に入ると誘殺数は増加します。最盛期は8月中旬で、10月中旬まで成虫は誘殺されます。成虫は昼間活動し、樹幹の下方の樹皮の裂け目や荒れた部分などに産卵します。孵化した幼虫は皮目や樹皮の荒れた部分などから食入します。越冬のために幼虫は孔道の最奥部に薄い繭をはって越冬します。翌春幼虫は樹皮下の浅い部分に繭を作って蛹になります。羽化時には蛹体を半分外に出し、蛹殻(さなぎのから)を残して羽化します。

### 4 防除法

- ・フェロモントラップが市販されており、成虫の発生状況を簡便に把握することができます。薬剤散布時期の把握に利用します。薬剤はMEP乳剤100倍液を休眠期散布します。
- ・殺虫剤は樹幹の下方を中心として行い、樹皮の荒れた部分などに丁寧に散布します。
- ・チシマザクラ台木は幼虫の食入被害が少ないので利用します。アオバ台木は幼虫の食入被害が多いので注意します。
- ・虫糞や樹脂を目当てに、幼虫の潜入部位を小刀などで削って補殺します。
- ・幼虫がまだ浅い所にいる場合は、潜入部位を木槌で強く打って圧殺します。

# レウイシアを楽しむ

スベリヒユ科 レウイシア属 北アメリカ原産 多年草



レウイシアには、オレンジ、ピンク、黄、白など色々な花色があります。茎が伸びないので草丈は低く、葉は硬い多肉質で放射状につきます。主な開花期は春で、10cm ほどの花茎をのばし、草姿のわりには大輪の美しい花を何輪もスプレー状に咲かせるので目を引きま

す。また、レウイシアは北アメリカの砂礫地や岩場・乾燥地帯に自生する高山性の植物なので蒸れと高温・多湿に弱く、水のやり過ぎと高温、強い霜には注意が必要です。このため、一般的な庭植え栽培は困難とされ、鉢植えで観賞されていますが、旭川でも山野草が栽培できる排水良好なロックガーデンで栽培している事例があります。無事に越冬しても春先は少々葉が枯れたように見えますが、次第に緑が濃くなって花芽が付き始めます。

## 栽培のポイント(・・水のやり過ぎと高温にご用心・・)

**置き場所**.....雨が当たって高温・多湿になるような所は嫌がる。午前中は日があたり午後からは明るい日陰になる所が好き。冬の寒さに気をつけるよりもむしろ夏の暑さに気をつけたい。

**水やり**.....多湿に弱いので鉢植えは表面が乾いてから2~3日してから与える。特に夏の過湿は禁物で、かなり乾かしぎみの7~10日に一回くらいでも。

**肥料**.....早春と秋に、カリ成分の多い液体肥料を月に2回ほど与える程度。夏は与えない。

**花ガラ摘み**.....花ガラを摘む。花が終わったら花茎を基部からねじり取る。

**植替え**.....花後すぐに行うか9月下旬頃に根鉢を壊さずひと周り大きな鉢に植え替える。一般的には3~4号の素焼き鉢に、用土は山野草の培養土などを利用する。

**増やし方**.....実生で増やす事ができる。種を採って冷蔵庫に保管しておき、翌春の3月頃、浅鉢(用土:鹿沼土など)に播いて薄く覆土する。本葉が2~3枚になったら小さめのポットに仮植えして、根が回ったら山野草の培養土などに植え付ける。

## 展示室の植物 (74)

### 金のなる木 (別名 フチベニベンケイ、花月)

学名: *Crassula portulacea* ベンケイソウ科クラッスラ属

「金のなる木」は、新芽が小さいうちに5円玉の穴に通しておき、そのまま成長させて、枝にお金になったように仕立てたものが流行したことに由来します。また、その姿から成金草とも呼ばれました。



葉の色は緑一色のものから、白やピンク、紅色の斑入り、葉が巻いたり細くなったりするものがあり楽しめます。花も小さな株でも咲きやすい系統と、50cm 以上の大株にならないと咲きにくい系統がありますが、花を咲かせるには真夏に1ヶ月ほど断水する。真夏以外はよく日光に当てて、夏以降は枝を切らないようにすると、冬に花が咲きやすくなるとも言われています。